



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して発見! 身近な自然

いつもいきものの情報をありがとうございます。
いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。
紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します!
みなさんはどんな発見をしましたか? ふりかえってみましょう!

みなさんからいただいた情報を掲載しています!



ヒレンジャク (レンジャク科)



3月6日に目黒川船入場で目撃

尾の先は赤く、腹の中央が黄色です。群れで行動することが多く、その数は時に100羽を超えることもあります。

コミカンソウ(コミカンソウ科)



10月に洗足1丁目で目撃

花と果実が一列にぶら下がるようにして付きます。果実はまるで小さなミカンのようなです。



シメ(アトリ科)



1月19日に駒場野公園で目撃

スズメとムクドリの中間の大きさで、チチッ! チチッ! と鳴きます。太いくちばしで、硬い殻などを割って、中の種子を食べます

ヒガシニホントカゲ(トカゲ科)



8月20日に柿の木坂1丁目で目撃

敵に襲われると尾を切って逃げる時がありますが、尾はやがて再生します。幼体時は尾がメタリックな青色です。

ツバメシジミ (シジミチョウ科)



3月24日に東工大で目撃

後はねの尾状突起をツバメの尾羽に見立てたことが名前の由来とされています。オスのはねの表面は青紫色で、メスは黒っぽい色をしています。

コゴメイヌノフグリ (オオバコ科)



3月13日に中目黒公園で目撃

白い花が特徴的なオオイヌノフグリの近似種です。元々は、ヨーロッパ原産の帰化植物ですが、小石川植物園で研究用に栽培したものが、都内に広がっていると言われています。

アズマヒキガエル (ヒキガエル科)



3月25日に原町2丁目で目撃

経路のにおいを記憶していて、毎年、同じ水辺で繁殖します。目の後ろの耳腺から白い毒液をだすことがあります。

これは何のいきもの でしょうか?



1月30日に東山2丁目で目撃

アケビコノハ(ヤガ科)

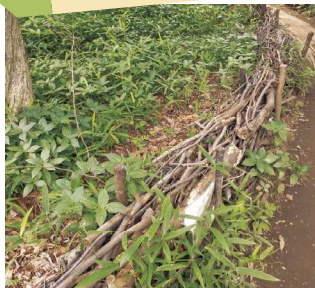
はねを閉じた姿は木の葉にそっくりです。このように、他のものに様子や姿を似せることを擬態といいます。これなら、天敵から見つかりにくくなりますね。

目黒区内の取り組み紹介



目黒区内の公園では両生類や爬虫類などの
いきものが暮らせる場所(エコスタック)を設置しています。

駒場野公園



駒場野公園では、枝を利用した粗朶柵や丸太積みがあります。よく、枝や丸太の上で、ひなたぼっこをしているトカゲが見つかるそうです。
また、園内にある自然観察舎では、園内で見つかったヒキガエルの卵を育てて、観察・展示しています。他にも、さまざまないきものが観察できるので、ぜひご利用ください。



碑文谷公園



碑文谷公園では、園内の複数の場所に、石を積んでトカゲなどの爬虫類が住める場所を設置しています。
その他に、粗朶積みや草を刈らないエリアも作っています。



探し方の コツ!

カエルやトカゲの探し方!

今年度は、両生類・爬虫類の情報を募集しています。
引き続き、情報提供をよろしくお願いします。

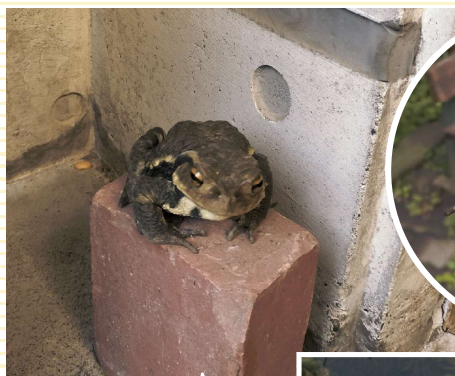
カエル

種類によって異なりますが、産卵期は水辺にすることが多いです。
また、アマガエルなどは湿った場所や畑でも見つかります。



トカゲ

晴れの日石垣やコンクリートの上など。
隠れる場所が近くにあれば、会える確率UP!



体が乾燥に弱いため、
水辺の近くで
よく見つかります。



体を温めるため
ひなたぼっこ。

アカミミガメ・アメリカザリガニについて

アカミミガメとアメリカザリガニは、2023年6月1日より「**条件付特定外来生物**」に指定されました。「条件付特定外来生物」は、外来生物法に基づき特定外来生物に指定された生物のうち、**通常**の特定外来生物の規制の一部を、**当分の間**、適用除外とする（規制の一部がかからない）生物の通称です。



アカミミガメ

(イシガメ科)

子ガメのうち「ミドリガメ」と呼ばれ、ペットとしても親しまれています。在来種のカメよりも繁殖力が高く、生態系に影響を及ぼしています。



アメリカザリガニ

(アメリカザリガニ科)

赤色・赤褐色の体で大きなハサミを持ちます。水草や水生生物など、なんでも食べてしまうので、アメリカザリガニが増えた池は環境が変わってしまいます。

目黒区内では、こんな場所で見つかっています。



目黒川



駒場野公園



碑文谷公園

規制のポイント

ポイント 1

規制開始後も、一般家庭でペットとして飼育しているアカミミガメ・アメリカザリガニは、これまで通り飼うことができます。寿命を迎えるまで、大切に飼育しましょう。

ポイント 2

アカミミガメ・アメリカザリガニを池や川などの野外に放したり、逃がしたりすることは法律で禁止されます。

※適切な飼育を行わずにカメやザリガニが自力で逃げ出した場合も違法となることがあります。

ポイント 3

飼い続けることができなくなった場合は、友人・知人・個体の新しい飼い主探しをしている団体等に譲渡してください。ただし、不特定または特定多数の者に配り分けるような行為は規制されています。

OK



NG



これから飼育を検討している方へ

アカミミガメやアメリカザリガニは、飼育をはじめたら、野外に放すことは法律で禁止されています。野外で捕まえたものを安易に持ち帰らないようにしましょう。

環境省では、規制の内容やアメリカザリガニ・アカミミガメの飼養等に関する問合せを受け付けています。

環境省 アメリカザリガニ・アカミミガメ相談ダイヤル

【ナビダイヤル】0570-013-110

【IP電話等の場合】06-7739-7899

受付時間：AM9:00～PM5:00（12/29～1/3は除く）



夏休み自然写真展 駒場野公園 野の花といきものたち 2023

好評開催

目黒川の支流、空川(そらがわ)の上流にある駒場野公園には、都会では貴重な豊かな自然が見られます。

里山のコクワガタやタマムシ、可憐な花たちなどの駒場野公園の自然を紹介。

こないきものたちがいるの!? と、少しびっくり!! みなさま、ご家族連れで駒場野公園をお楽しみください!

(公園活動登録団体:駒場野ホタルの会企画主催 野の花クラブ共催)

期 間 7月22日(土)~8月27日(日)

時 間 午前9時30分から午後4時30分まで

会 場 駒場野公園(自然観察舎・拡張部管理棟)

目黒区駒場 2-19-70(井の頭線駒場東大前駅徒歩1分)

※自然観察舎は月・火曜日は休館

やっぱり近場で楽しむ
自然はいいなあ...



●雑木林にひっそり咲くヒトリシズカ



●宝石のようなタマムシ



●ヒガンバナにクロアゲハが訪れる

■お問い合わせ 駒場野公園自然観察舎 電話 03-3485-1754

※この展示は駒場野ホタルの会の調査及び調査協力者が記録撮影したものです。



いきもの住民会議 2023 開催します!!



「目黒区に住む両生類・爬虫類」をテーマに講義と公園内でのいきもの観察会を開催します!!

公園内に潜むいきものにあってみませんか? 皆様ふるってご参加ください!!

期 間 令和5年9月9日(土)予備日:9月10日(日)

時 間 午前10時から午前12時まで

会 場 駒場野公園(自然観察舎・拡張部管理棟)

目黒区駒場2-19-70

天 候 当日小雨の場合は決行、台風等の荒天の場合は予備日へ延期

人 数 定員15名程度

※小学3年生未満の方は保護者の同伴が必要です

●申し込み

WEB(QRコード)申込みもしくは、はがき・FAXに「いきもの住民会議2023」と明記の上、

参加者の氏名(ふりがな)住所・電話番号・年齢を書いて8月25日(金)(必着)までに応募

※定員以上の申し込みがあった場合のみ、抽選を行い結果を連絡します

みどり土木政策課みどりの係(〒153-8573 目黒区役所 FAX:03-3792-2112)まで

駒場野公園で
待ってるね!



申込フォーム



募集中!

目黒区では引き続きいきもの情報を募集しております!

お近くの公園やご自宅のお庭をのぞいてみてください。皆様からの情報お待ちしております♪